

(平成 29 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会)

JVC シニアクラブ

(文責・総会書記:西郷 治男)

■日時 : 2016. 10. 7(金) 12:00~13:10

■場所 : パセラリゾーツ「BENOA 横浜店」(横浜ハマボール・イアス7階/横浜・西口)

1. 開会 [12:00]

◆はじめに、司会の高石副会長より1年間の物故者1名～豊田悦亨氏(横浜市緑区、2016年7月14日、享年77歳)が紹介され、黙祷が行われた。

◆開会挨拶に続いて、議長選出の事務局案(浅見憲一氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の浅見氏が登壇して挨拶の後、書記に西郷が任命された。

3. 会長挨拶 [12:05]

◆菅沼会長より挨拶。

・JVC シニアクラブは今年満 15 年を迎えたが、これまでの経緯を振り返ってみると、1999 年 9 月 9 日にゼンキン連合と金属機械労組が合併・統合して産別労組の JAM(Japanese Association of Machinery and Manufacturing Workers)が設立された。その後、ビクター労組の上部団体 JAM で 2001 年 9 月、JAM 高齢者・退職者の会(JAM シニアクラブ)が結成されたことを受け、2002 年 10 月に JVC シニアクラブの結成となった。当時、ビクターの退職者組織・寿会の会員約 2000 名を対象にシニアクラブ加入を呼びかけ、60 名の加入があり 19 名の出席で結成大会を開催した。その後 14 年間で徐々に会員を増やし今日に至っている。(現在 240 名規模)。

・日本のナショナルセンター・連合の傘下にある日本退職者連合は 80 万人規模であるが、その中の JAM シニアクラブは目標 1 万人である。ビクターも 1 人が 1 人を紹介すれば、60 名が 100 名、200 名とすぐ組織拡大できると見込んだものの、現実はなかなか難しい状況にある。これからも地道な活動を通じて会員増を目指していくが、皆さんも是非声を掛けていただき、1 人でも多くの仲間を増やしていきたい。

・高齢者を取り巻く環境は厳しいものになってくるが、より良い政策づくりに貢献できるような活動に取り組んでいくので、今後とも皆さんのご支援・ご協力をお願いしたい。

4. 来賓挨拶 [12:15]

◆JVCケンウッド労組・秋葉副委員長(大川委員長出張により代理出席)より挨拶。

・本日は大川委員長代理で参加させていただきましたが、まずは第 15 回総会を祝してご盛会を願うと共に、日頃のご支援・ご協力に御礼を申し上げる。

・2011 年 10 月に JVC ケンウッドとなって満 5 年を経過した。この間、年々ビクターとケンウッドの垣根もなくなりつつあり、世間から新しい会社として認識されてきている。このことは喜ばしいことではあるが、一方でビクターの色が薄まっていくことは寂しい部分でもある。

・会社の経営体制は今年 6 月の株主総会で、長年トップを務めていた河原会長が退任し、新たに辻社長がトップとなった。辻社長はビクターの伝統の技術やユーザーの評価、ブランド力には理解を示され、今後大いに活用していきたいとのことである。今後の商品・サービスにビクターらしさが出てくることを期待し、新しい動きを温かく見守っていただきたい。

・私達も改めてビクターの人間として諸先輩が築き上げたことを後世に伝え守っていけるよう大いに努力していく所存ですので、皆様の一層のご支援をよろしくお願いしたい。

5. 報告 [12:25]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成 28 年度活動報告

＜議案書 1～3 ページ参照＞

- ・8 月に全会員宛「28 年度活動記録(A3 カラー版)」を配布済みであり、活動の詳細内容はそれで報告に代える。「カラー版活動報告」は今後も継続するが、永久保存して欲しい。
- ・会場内スクリーンでも紹介のように、昨年ホームページを開設して活動内容をタイムリーに報告しているが、ビクター関連・OB 組織にもリンクを張って広く情報交換していきたい。
- ・①会員数推移;平成 14 年発足時 60 名から現在 241 名。②行事参加者数;昨年の延人数は 260 名と横ばいで、支部行事が水害などで減少した分、参加率は 50%→46%と微減。③行事企画;6 月のクルーズは夫婦同伴が 7 組あり、家族が参加できる内容も考えていく。
- ・「カラー版活動報告」は参加実績のない会員への PR、今後の参加率向上を期待したい。

(2)平成 28 年度会計収支決算報告

＜議案書 4 ページ参照＞

- ・収入合計は会費と労組本部の活動助成費 50 万円により 136 万円。支出合計は 107 万円で計画比 91%ながら、行事費の総会と幹事会支出が若干増加。活動費、事務管理費、通品費他はほぼ計画どおりで、収支残額(繰越金)は 29 万円。(前年より 10 万円減)

(3)平成 28 年度会計監査報告

＜議案書 5 ページ参照＞

- ・会計監査の飯田氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。 ～ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

6. 議案 [12:40]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成 29 年度活動方針に関する件

＜議案書 6～8 ページ参照＞

- ・取り巻く情勢認識～①世界のうねり; 英国の EU 離脱、米国の大統領選挙、南シナ海の領有権、国連の平和への取り組み ②日本の動き; 格差存在とひずみ、女性の活躍・台頭、高齢化への対応と健康管理、誰もが活躍できる環境づくり ③私達一人ひとり; 健康の自己管理(努力と継続)、災害への備え(避難対策・体力保持)、仲間意識と連帯行動
- ・JVC シニアクラブ活動方針～①フラット(会員拡大、フラットな組織風土) ②オープン(活動を分かりやすく情報伝達) ③自主(健康を心掛けた意義ある活動) ④絆・連帯(個人を尊重、緩やかな連帯) ⑤参画(上部団体と連携、制度政策要求)
- ➡「健康寿命の延伸を意識しながらイキイキと活動しよう」、キーワードは「イキイキ」。

(2)平成 29 年度会計収支予算に関する件

＜議案書 9 ページ参照＞

- ・支出額は昨年実績を基本に総会費と幹事会費を若干増やし、支部活動補助費は実績ベースに減額。予備費含めた支出額は前年比 93%。 ～ (1)(2)一括し、拍手で承認。

(3)シニアクラブ規約改定の件

＜議案書 10 ページ参照＞

- ・田代事務局長より提案。日本ビクター労組→JVC ケンウッド労組に該当部分を書き換え。事務所の郵便番号変更(221-8528 → 221-0022)。 ～ 拍手で承認。

(4)平成 29 年度・30 年度役員改選の件

＜議案書 10 ページ参照＞

- ・田代事務局長より提案。現役員体制で全員留任・継続。 ～ 拍手で承認。

7. 閉会 [13:10] 議長降壇、書記解任。閉会挨拶の後、懇親会前に記念撮影が行われた。

■交流懇親会 [13:15～15:15] (同一場所で開催)

- ・テーブル毎に食事・歓談しながら「ビンゴゲーム」で楽しんだ後、「番号別ジャンケン大会」の結果、各組勝ち残りの 10 名に図書券、最後の豪華賞品 2 本については榎本亨二氏(神奈川)に「ディナーペア券」、太田一穂氏(神奈川)に「リゾートホテルペア宿泊券」が贈呈された。

以上